

木々朗

初日の出螺旋階段昇り来て  
鶴亀を吟ずる賀正祝いけり  
炬開きや南部鉄瓶懐かしむ  
風花や華やかに舞ひ淡きもの  
匂の忽香を広げつつ酢味噌和え

霜寒 雑詠

細田 安治

霜寒の うろこ想わす 雲湧きぬ  
木枯らしに 雲ちりぢりに いずこぞや  
冬の空 悟空どこぞへ 金斗雲きんとくも  
公園の カリン石投げ 悪老人  
暗闇みに 足元照らす 銀の月  
落葉も 春の芽覗かせ いなせな樹



南部鉄器

出典：<https://ja.wikipedia.org/wiki/>